

# 青梅のじ

〈発行〉

日本基督教団 隠退教職ホーム  
にじのいえ信愛荘  
運営委員会 須藤 繁

〒198-0052 東京都青梅市長淵2-687  
電話：0428-22-2283 FAX：0428-22-2317  
Eメール：nijinoiesinaiso@wish.ocn.ne.jp

振替口座番号 00120-3-358467

加入者名：にじのいえ信愛荘

## 主に仕えるために

全国教会婦人会連合中央委員長・半田教会牧師 横山ゆずり



昨年の2  
020年に  
合併10周年  
を迎えられ

た「にじのいえ信愛荘」が、次の新しい10年を歩み出されたこと、そしてこれまでの歩みを振り返る時に、実に多くの方々の祈りとお支えによってきたことを覚え、主に在って心より感謝申し上げます。

にじのいえと信愛荘が合併して11年ですが、実は合併より少し前、まだ「にじのいえ」と「信愛荘」であった頃、一人の女性教職の方が言われた、「わたしはにじのいえがあるので安心です」との言葉を今も覚えています。何気ない一言ですが、長年こつこつと伝道の現場で主に仕えてこられた一人の伝道者の言葉として、印象深く受け止めているからです。

わたし自身はこの言葉を、「わたしはにじのいえがあるので、

安心して伝道の現場で働くことができます」「いつか伝道の一線から退く日は来るけれども、その日が来るまで安心して主に仕えることができます」と理解しているのですが、どうでしょうか。

それまで、「にじのいえ」設立の理念や歴史について教えていただき、それなりに理解していたつもりでしたが、この教職の一言で、それまでどこか遠くに感じていた事柄が、身近なこととして心が引き寄せられるような感覚を味わいました。それは、隠退後の婦人教職と逝去牧師夫人の方々のための施設であるというだけではなく、実は今、まさに伝道の現場で働いておられる教職を支えることにもつながる、との思いが与えられた時でもあります。

このことは「にじのいえ」に限らず「信愛荘」においても同じであったと思います。その後、

「にじのいえ信愛荘」として今に至るまで、同じく隠退教職とそのお連れ合いの方が安心して過ごすことのできる日々を提供してくださっている「にじのいえ信愛荘」も、やはり現場の教職とそのお連れ合いに対して、何らかのかたちで、主に仕える働きを助けるような、そんな働きの一面と願いがあのだと思わされています。

このような願いは東京教区、西東京教区、そして全国教会婦人会連合も運営母体として関わる責任を果たすうえで同じではないでしょうか。婦人会連合が期ごとに定めている主題と掲げている活動方針の中に、「隠退教職ホーム」に「にじのいえ信愛荘」のために祈り、積極的に支える」があります。隠退された教職とお連れ合いのための一助と共に、召命を与えられた教職がその召しに精一杯応えることができるための一助となりますように。そして、主の教会にとっても主の恵みに応えるときとなりますように。共に祈り、働きが守られますよう主に在って願います。

教師を隠退して

隠退教師 長山 恒夫



「にじのいえ信愛荘」に入荘させていただきます。

て、隠退教師として、今、考えることは隠退教師とはどのような教師かということでしょうか。「隠退」・「教師」とは、中途半端な身分だという感想はあります。隠退教師とは、教師なのか、教師を隠退しているのか。かえって、自由に教師としての活動ができるという一面があります。隠退教師の現実を、皆さま、それぞれに、ご想像いただけたらと、勝手なことを考えながら、この文章を書かせていただいております。というよりも、隠退教師自身が作りあげていくことが、大切な意味を持つと考えるべきなのかも知れません。

この文章を書くに当って、頼まれましたことは、「隠退教師として若い世代に向けて、何か一言を」ということでした。わた

しの最初の任地は東京・目黒の行人坂教会でした。青年会のメンバーが自然に増えていったことを記憶しています。教会の周辺には、中小企業で働く人がいまして、そういう人たちは自分たちの仕事に合わせて、都合のよい日の夜に、出稼ぎの人で教会に話しに来る人がいました。これはうれしいことでした。

次の任地は、青森県弘前市の郊外にある弘前南教会でした。弘前市の外れとなりますと、かなり遠いのですが、行人坂教会の青年たちが、かなりな人数泊りがけで訪ねてくれました。この訪問は、弘前南教会員も刺激を受けたようで、教会員の活動も広がったように思います。わたしは、生まれも前任地も東京でしたから、教会員の意識が東京に近くなることは、わたし自身の意識も、教会員とわたしの間も近くなることでした。

「にじのいえ信愛荘」は、東京都・青梅市にあります。わたしにとりまして、青梅は、その奥の御岳山、奥多摩、奥多摩湖、また、五日市、高尾山などと一絡に、中学・高校時代からの遊

び場のような場所ということがよく知っているとこで、懐かしい場所です。

教区活動としての、わたしにとつての教会の関係では、青年会の活動としては、阿佐ヶ谷から立川までが、その範囲でした。

それ以前の思い出として、まだ、終戦の雰囲気が残っていて、終戦直後という感じでしたが、吉祥寺駅の南口で行った野外伝道と称して、洗礼を受けたばかりの中学生であつたわたしが証しをし、それを仕事帰りの人が聞いてくださったという経験です。

そういう時代はすぐに去りましたが、分区の青年会活動として、阿佐ヶ谷の公会堂の大会堂を借りて伝道集会を開催したことなど、あの時代だったからこそできた経験だったと思います。

隠退教師として、「にじのいえ信愛荘」に、2019年に来させていただいたわけですが、青梅線沿いの教会を知らなかったことに、あらためて気付かされました。特に、青梅教会は「宣教師による宣教計画」との関係

から言っても、その歴史の古さから言っても、記憶に残っている当たり前なのですが、そう言えば、という程度の記憶しか残っていません。今こうして、「にじのいえ信愛荘」を住いとして、青梅の自然を見つみますと、青梅は新しい顔を見せてくれます。

以前に、日曜学校の生徒だったわたしが、信愛荘を最初に訪ねましたのは、まだ、神学生だった及川泰夫牧師に連れられて、草むしりに来た時でした。東京神学大学の神学生の奉仕活動ということであつたと記憶しています。わたしの印象としては、それほど遠い記憶ではありません。草むしりをしたということだけで、その外のことは何も残っていません。

いま、部屋から見える景色は、入荘している部屋によって違うのでしょうか、わたしの部屋からは、山と緑が、間近に迫っています。すばらしい景色でしょうか、もつと町の中がいいと思う人も当然おられるでしょう。そういう中で、どう思っ過ぎて過ごすか。人、それぞれでして、散歩を楽しまれる人が多いようです。

(にじのいえ信愛荘 在荘)

## 自己紹介

### 神様に守られて



北澤 豊子

昨年10月、私は「にじのいえ信愛荘」に入荘を許されて感謝の中に日々を過ごしております。

夫の北澤良夫は2001年の隠退後、長い闘病生活を経て、昨年1月、主のみ許に召されました。

1960年岩手県北上市での開拓伝道が始まりです。民家2部屋を借り、聖日には勉強机が講壇となり、私のオルガン奏楽と共に数名の会員と礼拝を捧げました。近隣教会の牧師家族、信徒の交流が強く、伝道の助けとなりました。次第に求道者、受洗者が与えられ、さらに土地の取得へと導かれました。諸教会の熱い祈りと、神さまの計り知れない導きの賜物を頂いた6年間でした。

その後、広島教会副牧師3年、名古屋中村教会に23年、母教会麻布南部坂教会（東京・西南支区）に10年間お任せし、主に用いていただいた42年間の牧会でした。

その間に2男1女が与えられました。

この小さな欠けたる器を主に祝して用いてくださったことに感謝します。

「わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ」

(コリントⅡ12章9節a)

### 感謝と讚美



小泉 富子

戸を開けると、奥多摩の緑美しい木々群が小鳥の声と一緒に朝の挨拶を届けてくれます。

私は、美竹教会（東京・西南支区）副牧師として30年牧会。その後、登戸集会を7年間主宰し、主日礼拝を守り、聖研・祈禱会を行う時が与えられました。

全国教会婦人会連合の歩みに招かれたこと、ロゴス教会、バンコクに在る教会での奉仕等に与れた事、感謝の他はありません。

昨年12月に「にじのいえ信愛荘」での生活に導き入れられました。ひとり暮らしから共同生

活に入った緊張を取るために庭に咲く花を描いたり、改めて読書の時間を決めたりしました。

そんな時、友人から送られて来たのは「カルヴァン旧約聖書注解創世記1渡辺信夫訳」の本。

荘のドライブで多摩川沿いを更に西へ、溪流を眼下にした時、夏期学校の子どもの声が聞こえて来るようでした。荘に帰ると一通の手紙が――。

この春、母となった人から「教会へ通っていた日曜日を思い返し、今になり本当に恵まれた子供時代を過ごしていたんだと実感しています。そういつか機会を作ってくれた父母、美竹教会に感謝」と記されてありました。

### 開拓伝道と

### 日本の教会を見つめながら



鈴木 正三  
信子



本年7月8日から「にじのいえ信愛荘」に加えていただきました。

私は東神大を卒業してすぐ名

古屋教会での3年間の働きを経て、その地で出会った数人の友と開拓伝道の道が示されました。そして15年間新たな教会形成の日々を過ごしました。経済的にはかなり大変でしたが、多くの人々に支えられ、まことに恵み豊かな日々を思い出します。カトリック、聖公会の人々も加わり、さらに地域の人々も仲間となり、路上生活者への炊き出し活動も根付きました。

基盤が整い安心した時、東京文京区に新たに富坂キリスト教センターを設立するために招聘されました。主にドイツ、中国、韓国、台湾などと交流しつつ、過去と現在の教会が向き合っている様々な課題を持ち寄り、交換し、理解し合い、未来の歩みにつなげようという大きなテーマを持って西へ東へと動く30年間の日々でした。

そして最後に東京西方にある昭島教会に招かれ、8年間の牧会生活に携わりました。少数であっても、日本のキリスト者が、深い信仰を持ちつつ教会形成に励む姿を見続けた55年間でした。







篠原 愛義師  
2021年2月26日 百天

「人間ですから」

篠原愛義先生追悼

後藤 和子

館林教会は、8代牧師・篠原愛義先生を、2012年4月、7代牧師の松谷好明先生の御推薦により、お迎えいたしました。

先生は、静かなお人柄で、常に「神様の愛」を説いておられました。何事がありましたも、「人間ですから」と、静かに処しておられました。地域の市民活動にも参加され、広く伝道に尽くされました。奥様の節子さんも、近くの小学校で、絵本の読み聞かせボランティアに参加、クリスマスには、大勢の初対面の方が、参加されました。植物のお手入れが大好きな先生は、会堂の周りに季節のお花を育てられて、明るい教会になりました。

「にじのいえ信愛荘」への入荘が決まりました時、ご夫妻は大変喜んでおられましたので、私

もつい「先生のお心掛けがよろしいので、神様からの御褒美です」と申してから、反省いたしました。

旅行がお好きなご夫妻は、休暇には東へ西へと楽しんでおられましたので、これからは、お好きな時にお好きな旅を、そして、お便りを楽しみにしておりました。

今、先生が就任時に教会員に配布なされた冊子を読み返しております。40代の頃、毎月1回「伝道説教をすることになり、ハイデルベルグ信仰問答を試みた」そう、何時でも変わらぬ信仰告白とのことでした。

著書「認識と信頼」の内容は、「使徒信条」「十戒」「主の祈り」と、私達信仰者のあるべき姿が、力強く示されております。そして、先生の並々ならぬ宣教への情熱を、改めて敬服し、感謝いたしております。また、牧師のご家庭で育てられた純粹な牧師の信仰で、今、更に尊く、懐かしく思います。

篠原先生、お世話になりました。主の栄光が与えられますように。  
(関東・館林教会員)



柏井 宣夫師  
2021年3月29日 百天

研究者、教育者

そして牧師として

瀬戸 英治

去る3月29日に柏井宣夫牧師が亡くなられた。柏井先生は私が農村伝道神学校卒業時の校長であり、卒業論文の担当教師でありました。と言っても、私は出来の悪い弟子で、先生を紹介するに他に相応しい方はおられないはず、と恐縮しております。

柏井先生は農伝に來られる前に、マルティン・ノートの「契約の民その法と歴史」を訳すなど著名な旧約神学の研究者としてすでに活躍されておられました。その当時の農伝は、新約神学の高橋敬基先生、ドイツ教会闘争の兩宮栄一先生、アジアのキリスト教に強い東海林勤先生など、第一線で活躍する教師が揃っていて、学生は大いに刺激されました。柏井先生の校長就任が決まったとき、学生たちが

理事会に対して「柏井先生の旧約聖書の研究の妨げにならないように」との要望を出しました。全く若気の至りで、穴があつたら入りたい思いです。そんな学生たちの思いは杞憂でしかなく、先生は農伝の紀要などに多くの論文を発表しておられ、それらをまとめる形で1990年には「旧約聖書における創造と救い」(日本基督教団出版局)を出版された。

そして何より申し上げたいことは、この本が単なる研究室の中で生まれた本ではなく、農伝の校長という激務の中で書かれたものであり、そして日本の農村伝道という「挫折」の歴史から新しい宣教の方向性を思索するという重要な試みとしての「農の視点」を生み出したことにあります。

先生はこの本の中で、従来対立的に捉えられていた農業と牧畜を一体として捉え、新たに都市と農村という対立軸として描き出し、「農の視点による聖書解釈によって具体的な生活の根とつながりを回復しなければならぬ」として、聖書解釈を觀念化しないための方法論を提示

してくださいました。このことは宣教の現場で働く私及び多くの同窓生、そして農村伝道神学校にとっても、大きな支えになっていきます。

もう一つ柏井先生の思い出では、先生の在任中に学生の一人が強盗致傷という、起こしてはいけない罪を犯し現行犯で逮捕されるという事件がおきました。先生は世間の批判を一身に浴びながらも、彼の更生を願い、弁護を依頼し、証言台にも立ち、入所後は刑務所をも訪問したと聞いています。校長を退いた後も、刑期を終えた彼の行き先も先生が世話をしました。残念ながら、その彼はまた罪を犯してしまいました。先生はなお、支援を続けていたようです。

学者として、そして一教師として一貫したその姿勢に、出来の悪い弟子ですが、見習って行きたいと思います。

(西東京・鶴川教会牧師)  
(農村伝道神学校事務長)

(第40回卒業生)



松本 明子師  
2021年4月23日 召天

## 松本明子牧師との思い出

田崎 幸子

松本賢三先生、明子先生が溝ノ口教会に赴任された当時の教会は、二人分の謝儀を差し上げられないような経済状況でした。そのことをお二人に伝えましたら、「二人分がいいよ」というご返事でしたので、明子先生には少額しか差し上げることが出来ませんでした。それにも関わらず、そのお働きは賢三先生を立てつつも、細やかで心温まるものでした。

最も強く印象に残っていますのは、一番後ろのパイプ椅子に座り、賢三先生の説教を書き留めておられたことです。賢三先生はメモ無しで説教されますので、書き留めたものを夕食後に賢三先生に見せ、意見を言い合っていたのかも知れないと、私は思っていました。

また、明子先生も牧師ですが、

ご自身は控え目にしておられました。更に、「私を近所のおばさんだと思つて、気楽に話しをしてくださいな」ともおっしゃつておられました。本当に気さくで話しやすく、よく笑う先生であり、何事をも前向きに捉えておられる先生でした。

個人的には、私の娘の義子が小さい頃、先生の2週間の夏期休暇で伊豆の稲取に行かれる際には、いつも娘の義子も連れて行つてくださったことです。娘もその時には「賢三パパ、明子ママ」と呼んでおり、とても楽しかったと帰宅後に話してくれました。

お二人が隠退され、千葉県白子に住んでおられた家の外壁は「黄色」であり、目立つ家でした。

賢三先生が主のもとに召された後、しばらく明子先生がお一人で暮らしておられた時、私達と娘夫婦と4人で訪問しました。「何か手伝つてほしいこと、ありますか」とたずねますと「網戸の張り替えをお願いしたい」と言われました。男性たちが作業している横で、女性たち3人は話しに花を咲かせておりました。

明子先生が「にじのいえ信愛荘」に入荘されてからは、月に一度は私の方から電話を差し上げますと、とても喜んでくださり、私も元気でおられるご様子にほっとし、いつも1時間程度お話しをしておりました。

しかし、訃報の知らせに全身から力が抜けていくような感じになると共に、悲しみが心の底から湧きあがってきました。

今は愛する賢三先生の側で、明るく笑いながら話しに花を咲かせておられるのでしょうか！

(神奈川・溝ノ口教会員)

### ■訃報

ご病気のため昨年10月にご夫妻でメデイケア梅の園に入所された柳沼齊子姉(89歳)は、8月16日21時15分病院で逝去されました。8月19日、青梅火葬場にて深山祐チャブレン司式により、火葬前式が執り行われました。ご遺族の上に主の慰めを祈ります。

## コロナ禍の下で

### 運営委員会報告



運営委員会  
委員長  
須藤 繁

運営委員会は昨秋新委員を多く迎え、新風を期待しましたが、コロナに阻まれてしまいました。

しかし、委員の皆さんはパソコンを使えますので、各小委員会等の報告や議題をオンラインで提出していただき、3か月に1度、それらを書記から各委員にオンラインでお送りし、ご意見等を決められた期間内に返送していただく、という方式で、主要な委員会活動を続けることが出来ています。

急を要した入荘希望者や新施設長の決定なども、同じ方式をもって迅速に決定できました。そのさなかの今年2月富士見町教会で委員会を開き予算案の審議をしました。予算案は当然前年の収入の概算を参考にしますが、過去1年はコロナに明け暮れましたから、その収入がどうなったか不安も大きかったのです。

しかし、驚くことに、献金を

中心とする収入は一昨年とほぼ同じで、改めてこの業への皆様の熱い祈りを覚え、感謝したことでした。もう一つ、運営委員会は一昨年から昨年度にかけ荘運営のための幾つかの内規等を制定しました。にじのいえ信愛荘が誕生して10年が経ち、内規等も実態に合わなくなりました。

それで、まず「職員就業規則」のうち、定められなかった嘱託職員の定年や職員給与の基準を定め、特別休暇を有給化しました（パート職員の特別休暇も新設）。次に、「入荘規定」と「入荘指針」を併せて「にじのいえ信愛荘利用規定」を作り、荘運営の基本を定めました。また、入退荘時の参考となる「介護度チェックシート」を改定し、新たに「ポイント資金利用規定」、「苦情解決要綱」、「預り金等取扱要綱」、「生活の指針」を制定しました。これで概ね荘運営の足固めが出来たと思います。

どうかこれからも主がこの業を祝してくださるようお祈りとお支えをお願いいたします。（なお、新しく迎えた施設長のごことは、その紹介記事に譲ります）

（東海・伊豆高原教員会）

## よろしく

### お願いいたします。



施設長代行  
大野 裕昭

主の御名を讃美いたします

2021年6月より着任いたしました。主なる神への切なる祈りによって開かれた「にじのいえ信愛荘」での働きであると信じております。

これまで住まわれる（た）荘員の方々と働かれる（た）職員が大切にされ、幾重もの献げられた篤いお祈りと尊いお働きの輪の中に、私に加えられることは大きな喜びであり、最善を尽くしたいと思っております。

様々な課題はありますが、すべてを益としてくださる主なる神の守りと導きを信じ、皆さまとともに「にじのいえ信愛荘」の歴史のページを紡いでいきたいと心から願っております。

この状況が落ち着きましたら、直接お目にかかれる日を心から楽しみにしております。

どうか引き続き、ご加柄くださいますよう、重ねてお願いいたします。

## スタッフ・自己紹介



大倉 寧

2月の末から働かせていただいています。青梅

市内のクリスマスチャン宿泊施設に勤めていますがコロナ禍で休業を余儀なくされる中、導かれました。生まれも育ちも青梅で、信愛荘にはクリスマスキャロリングに何度か来ておりました。許される限りご一緒させていただきます。



2021年7月9日 にじのいえ信愛荘 在荘の皆さま



# 莊日記



施設長(旧) 松村 誠一  
代行(新) 大野 裕昭

## ●2020年7月

- 9日(木)スタッフ会
- 13日(月)防災機器点検
- 15日(水)井上医院往診
- 17日(金)給食改善会議
- 21日(火)柏井雅子姉送別会
- 23日(木)柏井宣夫師ご夫妻退荘
- 27日(月)誕生会・相談会
- 29日(水)防災訓練
- 31日(金)庭の剪定作業
- 2020年8月
- 4日(火)財務小委員会・エレベーター点検
- 11日(火)風呂レジオネラ菌検査
- 17日(月)説教担当者打合せ会
- 19日(水)井上医院往診
- 21日(金)運営委員会
- 26日(水)柳沼齊子姉入院(多摩リハビリテーション病院)
- 27日(木)礼拝担当者打合せ
- 2020年9月
- 10日(木)スタッフ会
- 16日(水)井上医院往診
- 27日(日)秋季墓前礼拝
- 28日(月)誕生会・相談会
- 2020年10月
- 8日(木)スタッフ会
- 12日(月)インフルエンザ予防接種
- 15日(木)北澤豊子姉入荘

- 21日(水)井上医院往診
- 24日(土)ボイラー点検
- 26日(月)誕生会・相談会
- 28日(水)A棟パネルヒーター修理
- 29日(木)柳沼政一師・柳沼齊子姉夫妻メデイケア・梅の園入所
- 30日(金)厨房休憩室エアコン掃除・B棟の外灯修理

- 2020年11月
- 5日(木)エレベーター点検
- 12日(木)スタッフ会
- 14日(土)B棟外灯修理・厨房エアコン掃除
- 18日(水)井上医院往診
- 19日(木)B棟風呂塩素パイプ交換
- 23日(月)A棟ボイラーポンプ交換
- 26日(木)運営委員会
- 27日(金)B棟風呂給湯設備点検
- 30日(月)誕生会・相談会
- 2020年12月
- 2日(水)オルガン調律
- 10日(木)スタッフ会
- 11日(金)小泉富子師入荘
- 14日(月)相談会
- 16日(水)井上医院往診
- 20日(日)クリスマス礼拝・聖餐
- 21日(月)クリスマス祝会
- 25日(金)青梅幼稚園児来訪
- 28日(月)Wi-Fi工事
- 2021年1月
- 2日(土)高崎ワカ姉入院
- 14日(木)主日礼拝の莊員の説教担当

## 当者につき協議

- 19日(火)井上医院検診(往診は中止)
- 25日(月)誕生会・相談会
- 2021年2月
- 2・3日(火)エレベーター点検
- 4日(木)篠原愛義師入院
- 11日(木)説教担当者打合せ会
- 16日(火)財務小委員会
- 22日(月)誕生会・相談会・加藤鈴姉送別会
- 24日(水)井上医院往診は中止、菓はスタッフが対応
- 25日(木)運営委員会・加藤鈴姉退荘
- 26日(金)篠原愛義師召天
- 27日(土)篠原愛義師火葬前式
- A棟風呂ポンプより漏水・漏電(ポンプ交換)
- 2021年3月
- 10日(水)委員長スタッフ面接
- 24日(水)井上医院往診・説教担当者会議
- 25日(木)風呂定期点検
- 29日(月)誕生会・相談会
- 柏井宣夫師召天
- 2021年4月
- 1日(木)荘費改定実施
- 2日(金)柏井宣夫師葬儀
- 12日(月)イースター礼拝・聖餐
- 23日(金)松本明子師召天
- 26日(月)誕生会・相談会
- 28日(水)松本明子師葬儀
- 2021年5月
- 19日(水)井上医院往診代行
- 21日(金)運営委員長(新施設長紹介)

## 31日(月)相談会

- 2021年6月
- 3日(木)地下タンク年次点検
- 8日(火)新緑ドライブ(奥多摩バイブルシャール)
- 10日(木)スタッフ会・説教担当者打合せ会
- 15日(火)コロナワクチン接種(一回目)
- 16日(水)井上医院往診
- 20日(日)河辺伝道所・教会学校から花等の贈物
- 21日(月)B棟エアコン清掃
- 23日(水)会計監査
- 24日(木)給食改善会議・防災訓練
- 28日(月)誕生会・相談会
- 新旧施設長歓迎送迎会
- コロナ禍の中、莊の主日礼拝は左記の先生方の説教ご奉仕応援もいただき守られていて感謝です。
- 飯田輝明師・飯田瑞穂師・五十嵐成見師・岩田昌路師・佐野正子師・島田直師・中村謙一師・長山道師・西田恵一郎師・深山正子師・吉岡康子師
- 8年間施設長として本当にお世話になりました。後半はコロナとの戦いでしたが、莊員・スタッフがすべて守られ感謝でした。今後とも、にじのいえ信愛莊の事をお祈りお支えいただきますよう、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。(松村誠一)

## ■新運営委員 自己紹介



(東京・王子教会)

尾野 明子

「にじのいえ信愛荘」運営委員に加えていただくことになりました。お用いくださる神様を見上げ、皆様と共に歩ませていただきます。小さな者ですがよろしくお願い申し上げます。



(東京・江戸川教会)

高橋 玉代

この度、「にじのいえ信愛荘」運営委員を拝命いたしました。現地調整をお受けすることとなりました。コロナ感染症の蔓延があり、現地スタッフ会も開くことが叶いませんが、微力ながら奉仕をさせていただきます。



(西東京・)

八王子栄光教会

山口 玲子

教区婦人委員会のご用を通して、多くの出会いと学びを与えられ感謝の中、この度運営委員としての働きにも加えていただきました。募金担当として主に用いられたいと心より願います。

## 「にじのいえ信愛荘」

### ご入荘へご案内

豊かな自然に恵まれた東京郊外の青梅市にある「にじのいえ信愛荘」には、長く伝道牧会に尽くされた隠退教師とパートナーの皆様が、神の家族として祈りに満ちた生活をお過ごしです。毎朝の礼拝と食事を共にする以外は、各自、お部屋で、また散歩など、自由にお過ごしです。

コロナ禍の現在、スタッフ方に見守られつつ、懸命に感染対策に取り組んでおられます。また、以前のような教区、支区や教会からの訪問などの交流は、コロナ禍の終息まで控えている状況です。

荘は自立型の施設のため、入荘の際、自立基準の判定がありますので、早い段階のご相談を是非お勧めします。

荘費の件も昨年度より、基準荘費(A棟一人6万5千円、B棟7万円、部屋代、食事代含む)と、それに見合う基準収入を定め、荘員の収入に応じて、この荘費を増減する制度ができましたので、お電話やメールでご相談、ご連絡ください。

## 維持献金と

### クリスマス献金のお願い

「にじのいえ信愛荘」のため、皆様のご理解とご支援をいただき厚く御礼申し上げます。

昨年度に引き続き、今年度もコロナ禍のためチャリティコンサートを開催することができず、全国の教会と皆様に、一層のご支援をお願いいたします。

また、今回も「青梅のにじ」が年1回の発行のため、早い時期のお願いとなっておりますが、クリスマス献金も心よりご協力をお願いする次第です。

○事務局には振替用紙と専用の献金袋(個人)を用意していますので、ご利用の上、教会ですとめてご送金ください。

○献金者の中で、ご召天、転居、転会、中止の場合や、献金額等の不審点がありましたら、ご面倒でも、ご連絡(メールも可)ください。

### 振替口座番号

001200131358467

加入者 にじのいえ信愛荘

TEL 0428 (22) 2283

FAX 0428 (22) 2317

Eメール

nijinotesinaiiso@wish.ocn.ne.jp

## 運営委員会報告

監事就任

蓬田清吉 (東京・池袋西教会)

高花富夫 (東京・柏教会)

吉崎純二 (東京・吉祥寺教会)

任期・2020年11月1日から

2024年10月31日

## あとがき

第22号を全国の教会、学校、読者の皆様にお届けできますことを感謝します。

相変わらず手ごわいパンデミックの中、教会は従来の礼拝形式を変えたり、諸委員会も諸集會もズーム形式によるようにするなど、私たちの日々の生活も変化が求められるようになりました。

しかしその中にあっても、決して変わることはないものは、御言葉であると気付かされます。礼拝説教にしかと耳を傾け、聖書のみ言葉に集中できますよう祈ります。

### 編集委員会

長 成松三千子 (柿ノ木坂教会)

尾野 明子 (王子教会)

岸 俊彦師 (経堂北教会)

黒沢 咲子 (九段教会)

阪口 和美 (水戸教会)

鈴木 功男 (目白教会)

印刷 シャローム印刷